臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき，研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば，他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で，研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて，患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので，下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも，患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

トラマドールおよびタペンタドールのがん性疼痛，骨転移痛，神経障害性疼痛に対する効果に関する研究

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院　薬剤部　（研究責任者）　武内温子

<研究期間>

承認日　～　西暦　2021年　12月　31日

<研究の目的と意義>

がん性疼痛においてトラマドール、タペンタドールはズキズキした痛みやピリピリした痛みに対し効果が期待されるお薬で、薬の効き方も似ています。実際のがん性疼痛はズキズキ・ピリピリした痛みのどちらの訴えもありますが、どちらの薬がより効果があるのかはわかっていません。そのため、ズキズキした痛みやピリピリした痛みにおけるトラマドール、タペンタドールの痛みを和らげる効果や副作用の違いについて調べます。

<利用する試料・情報の項目>

カルテより薬を内服した前後24時間の痛みの変化、副作用などについての診療記録

<対象となる患者さん>

2017年4月1日～2020年3月31日の期間に当院入院中に緩和ケアチームが介入した方でトラマドール、タペンタドールが経口モルヒネ換算で20mg以上40mg以下を定時内服開始した方。

<研究の方法>

トラマドール、タペンタドールとのがん性疼痛に対する鎮痛効果について比較します。さらにズキズキした痛みやピリピリした痛みに対する効果について相関性があるか検討します。また副作用の発現を比較します。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町30-1）
薬剤部　　　　氏名：武内温子
電話：03-3972-8111　内線：3014